

「目指せ三冠王」の 取組みで六冠達成

2023年度通常総会を開催



三ヶ尻会長

神奈川代協

神奈川代協(三ヶ尻明広会長)は5月16日、2023年度通常総会を横浜市のビジネススクエアで開催した。総会では2022年度事業報告や2023年度事業計画、会費改定など6つの付議事項が審議され、いずれも可決となった。

顧客本位の業務運営を 血の通ったものに

総会審議に先立ち挨拶した三ヶ尻会長は、昨年度の神奈川代協の取組み実績について説明し「日本代協が推奨している取組み『目指せ、三冠王』について、神奈川代協では一昨年に5冠を獲得したが、昨年度は6冠を獲得することができた」と述べた。また、今年3月10日に開催された金融庁の三浦知宏保険課長と全国の代協会長の懇談会について触れ、三浦課長は「三浦課長は代理店がどのような創意工夫を重ねてもよい取組みを行っていく

かについて大きな興味を示していた。さらに、顧客本位の業務運営を血の通ったものにするには、一人ひとりの肩にかかっているといった意味合いの発言をたびたびされていた」と懇談会のような一端を述べた上で「これからの言葉は、私たち代理店がそれほど社会から期待されている存在なのだという表れだと思ってい。社会とお客様の信頼に込めるため、代理店自身が進化していかなければいけない」との考えを示した。

議案審議に入り、第三号議案の2023年度事業計画の説明にあたり、三ヶ尻会長は、代理店の価値向上のための推進策として社労士診断認証制度「宣言企業」認証、事業継続力強化計画認定、

BCP策定、日本代協版リスクマネジメント講座の情宣・活用、情報誌「みなさまの保険情報」の活用推進に取り組むとした。その上で「推進にあたっては取り組み目的や意義、その必要性を忘れることなく、結果的に代協会員の価値向上につながることを第一義に考えていきたい」と述べた。

また、CSR活動に関して、今年9月に神奈川県で開催される「ぼうさい2023」に神奈川代協が参加申請をしたとし、参加が決まれば、ぼうさい探検隊の取組みなどを紹介していきたいとの考えを明らかにした。

第五号議案では会費改定について審議が行われた。神奈川代協の現行の会費体系は、会員代理店の規模(募集人数)にかかわらず正会員1店あたりの年会費が2万6000円という一律方式となっているが、代協のより安定的な財務態勢の構築などを図るために、代理店の所属募集人の数に応じた会費体系を採用することとした。説明にあたり、同代協の徳山信昭専務理事は「財務態勢をいっそう安定化させ、災害や緊急事態その他の不確定要素に備えることも、神奈川代協のさらなる活性化につなげていきたい」と会員に理解を求めた。

埼玉代協 第15回通常総会を開く

オープンセミナーで成島氏が講演

埼玉代協は5月25日、大宮ソニックシティ国際会議場(埼玉県さいたま市)で第15回通常総会を開催した。塩野忠会長は挨拶の中で、昨今話題のチャットGPTの活用について、



塩野会長

触れ、「お客さま第一主義」を貫いた上でサポートツールとして活用することが望ましいのではないかとの見解を示した。総会では4つの議案を審議し、全て賛成多数で決した。総会終了後は、元金融庁特別監査官の成島康宏氏を講師に招いたオープンセミナーと懇親会を開催した。開催にあたって挨拶に立った塩野会長は「急速な社会変化やデジタルな観点点を考慮して慎重に対応する必要がある」と述べた。また、チャットGPTの活用について、塩野会長は「保険代理店はお客様の信頼関係を築きながらAIを活用し、より品質の高いサービスを届けることが求められている。保険代理店は変化を促す環境に適切に対応し、顧客ニーズに寄り添いながら発展していく覚悟をもって取り組んでいく。支援・協力をいただきながら共に未来に向かって進んでいこう」と述べた。その上で、これらの挨拶文は「教壇時間、チャットGPTと対話し、作成してもらった」と明かした。

チャットGPTに対する賛否はあるものの、確かに社会は変化している。塩野会長は挨拶文を作成してもらったあたり、対話により精度が上がったとし、使い方の重要性に言及した。オンラインが当たり前になったように、対話型AIが当たり前前の社会になっていくかもしれないと推測し、AIの急速な変化の中で、これからの保険代理業を想像してみたところ「原点に戻った」と明言。二つの把握や正確な情報提供等で顧客の信頼を得るといった前

「どのように時代が変わっても、我々のやるべきことはお客さま第一主義を貫き、日々、行動していくことだ」と述べている。また、セミナーや勉強会への参加を呼びかけた。

来賓挨拶に続き行われた総会の付議事項は、第1号議案(2022年度事業報告および収支計算書、正味財産増減計算書)、第2号議案(2023年度会費額案案)承認の件)、第3号議案(2023年度事業計画案)および収支計算案(承認の件)、第4号議案(本総会の決議の趣旨に反しない限りその修正を会長に一任する件)の4議案。第2号議案の会費額の審議において会場から提案があり理事会で審議を継続していく旨の回答があった。いずれの議案も賛成多数で承認された。

続くオープンセミナーは「今、保険代理店に求められる取組みとは」と題して成島氏が講演。ウェブでも配信された。